

平成15年6月19日
 中国電力株式会社

SARSの蔓延が中国地域経済に及ぼす影響について

当社 経済研究センターは、このたび、東アジアを中心としたSARS(重症急性呼吸器症候群)の蔓延が中国地域経済に及ぼす影響について、当センターのマクロ計量経済モデル等を用いて中国地域の域内総生産への影響を中心に分析を行いました。

【分析結果】

- 海外旅行者の減少、輸出の減少を合わせたSARSの影響により、2003年度のわが国実質GDPは約0.11%、中国地域の実質域内総生産は約0.15%、それぞれ押し下げられると考えられる。
- 国内で感染者が出ていない状況下では、わが国や中国地域のマクロ経済へのSARSの影響はこれまでのところ限定的と言えるが、力強さに欠ける今日のわが国経済の現状に鑑みると、SARSの直接間接の影響は無視できない景気下押し圧力となることが懸念される。
- 中国地域経済は、輸出等を通じてアジア経済と強くリンクしていることから、今後、アジア諸国におけるSARSの影響が予想外に長引くような事態になれば、2003年度の中国地域の実質経済成長率がマイナスに転じる可能性も考えられる。

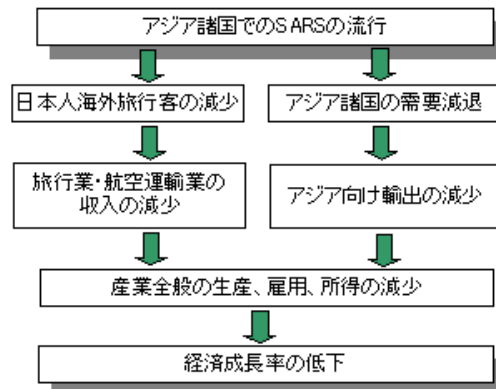
【分析の考え方】

SARSがわが国および中国地域経済へ影響を及ぼす経路としては、(1)アジア向け日本人海外旅行者の減少による旅行関連支出の落ち込み、(2)アジア向け輸出の減少、の二つが主なものとして考えられることから、本調査ではこの二つの側面に焦点を当て影響を試算した。

【主な仮定】

東アジアにおけるSARSの蔓延は未だに予断を許さない状況であるが、6月以降は新たに報告された感染者や死者の数が先月までと比べて大幅に減少し沈静化の兆しも見られることから、本調査ではアジアでのSARSの流行は6月中に概ね収束すると仮定した。

SARSのわが国および中国地域経済への
 主な影響波及経路



(資料) 中国電力(株) 経済研究センター作成

【海外旅行者の減少を通じた影響】

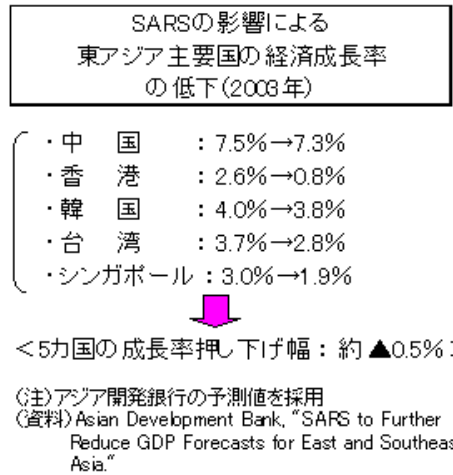
SARSによるアジア向け海外旅行者の減少が4月～6月の3か月間続くと仮定すると、SARSの影響によって、わが国のアジア向け海外旅行者数は約90万人減少し、このうち、中国地域からのアジア向け海外旅行者数は約3万人減少

する。

こうした日本人海外旅行者数の減少の影響は、わが国および中国地域の旅行業、航空運輸業等の売上の落ち込み等を通じて経済全体に波及し、2003年度のわが国実質GDPを約0.02%、中国地域の実質域内総生産を約0.01%、それぞれ押し下げられるものと考えられる。

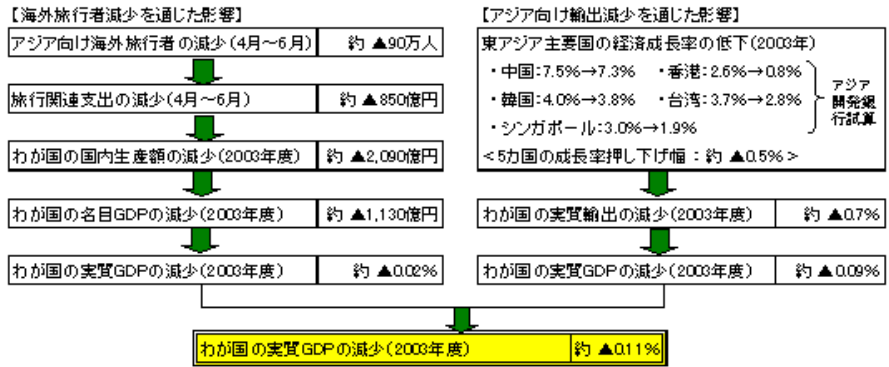
【輸出の減少を通じた影響】

一方、アジア開発銀行の試算では、アジアにおけるSARSの流行が6月まで続いた場合、東アジア主要国(中国、香港、韓国、台湾、シンガポール)の2003年の実質成長率は約0.5%押し下げられる。この国別試算値をベースに、当社経済研究センターのマクロ計量経済モデルを用いて試算を行ったところ、SARSの影響によってわが国のアジア向け輸出が減少することから、2003年度のわが国実質GDPは約0.09%、中国地域の実質域内総生産は約0.14%それぞれ押し下げられるものとみられる。



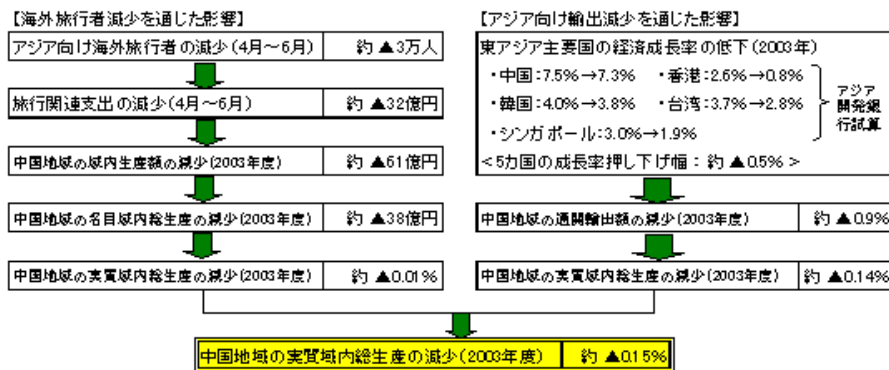
以上

SARSのわが国マクロ経済への影響



(資料) 中国電力(株) 経済研究センター試算

SARSの中国地域のマクロ経済への影響



(資料) 中国電力(株) 経済研究センター試算